

お

第117号 2025年1月発行

放送大学 大分学習センター

TEL 0977-67-1191/FAX 0977-67-1193

HP <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/oita/>

〒874-8501 別府市北石垣82 別府大学39号館2階



題字：初代所長 竹屋 芳昭



新年のご挨拶

大分学習センター所長 越智 義道

新年あけましておめでとうございます。

2024年は元旦から能登半島を中心とする大きな地震に見舞われ、その後も台風や大雨による自然災害を経験し、同時に記録的に暑い夏や残暑に苦しめられた一年でした。それらの災害からの復興事業もいまだに十分とはいえない状況におかれています。コロナ禍については、一昨年の春に感染症の5類に分類され、以前のように特段に強い規制がかけられることはなくなり、社会活動を取りもどしてきて、昨年の間にはコロナ禍は過去の混乱ととらえられる場面も現れ始めました。ただ、この感染は完全には終息していませんし、コロナ感染が拡大した2020年からこれまでの間に社会に与えられた多くのダメージからは、まだ十分に立ち直れていない状況です。加えて、世界のどこかで新たな感染症拡大の兆しがあるとのニュースも続き、気を抜けない毎日を過ごしています。国際情勢についても、東欧での戦争や中東での混乱などが継続し、近隣の国々との間でも様々な形での緊張関係が次々に報じられ、なかなか明るい展望を見通せないこの頃です。2025年に、これらの困難な状況のいくらかでも解決の糸口につながる展開が生じることを願っています。

そんな2024年でしたが、大分学習センターとしては開設30周

年の記念すべき年でした。それを記念して、11月16日（土）午後、大分県立図書館で大分学習センター開設30周年記念式典、記念講演会を行いました。記念式典では放送大学の高橋道理事長から式辞を頂戴し、記念講演会では岩永雅也学長に「日本の生涯学習と放送大学～義務でもない権利でもない学びの世界～」というタイトルでご講演をいただきました。地域の自治体や大学等の教育機関からも責任者の方々のご臨席を賜ると同時に、九州の学習センターからは所長の先生方や事務長の方々がお祝いに駆けつけてくれました。また、元所長の前田明先生、前所長の古城和敬先生や客員教員等で大分学習センターの活動に貢献していただいた教員の方々もご出席くださり、多数の学生や卒業生の皆さんのご参加もいただいて、盛大にお祝いの式典・行事を行うことができました。ありがとうございました。

新年に入り、第2学期も終盤を迎え、本センターでの面接授業もすべて終了し、そろそろ学生の皆さんは1月半ばから始まる単位認定試験に向けて準備を進めておられる頃かと思えます。しっかりと準備をし、好成绩が得られるよう努力を継続されることを期待しています。そんな準備の際に、得心の得られない箇所や今一つ理解が難しいところなど出てくることもあるかと思えます。そういう際は、積極的にセンターの学習相談をご活用ください。客員教員の先生方、私を始めセンターの職員は、可能な限り皆さんをサポートする体制で待っています。

本年が皆様にとってよりよい一年となることを祈念しています。

▶卒業生である秋篠誠司さんが昨年引き続き門松を設置してくださいました。ありがとうございます。



Contents 「目次」

大分学習センター所長からのメッセージ	
「新年のご挨拶」	1
客員教員からのメッセージ 大城 英裕先生	
「人工知能と私」	2
学習相談について	3
単位認定試験について	4

2025年度第1学期面接授業開設一覧	5
放送大学大分学習センター開設30周年 記念式典・講演会のご報告	6
学生行事のお知らせ	7
今後の予定 1、2、3月	
意見箱リニューアル、サークル活動報告	8

客員教員からのメッセージ

大分学習センターで客員教員として昨年の10月から学生さんと共に学ぶ機会を頂きました。よろしくお願いいたします。

■ Docendo discimus

私の好きな言葉は、ギリシャ語で「Docendo discimus」です。カタカナ読みでは「ドケンドー ディスキムス」となります。日本語に訳すと「我々は教えることによって学ぶ」という意味です。この言葉は、SNSの自己紹介欄にもよく使っています。

教員という職業は、一般的には自分の知識を学生に伝える、すなわち、自分が持つ学術的な概念を学生に共感してもらう行為だと捉えられることが多いように思います。長く教員を務めていると、学生に通じやすい教え方を自分なりに確立しているだろうと思われがちです。しかし「なぜこの説明では分かってもらえないのだろう」と感じるのが常で、実際には、学術的な概念を伝える普遍的な教え方というものには存在せず、教科書通りのやり方だけで十分とは言えません。

学生はそれぞれ異なる背景や考え方を持っており、学生にとって理解しやすい言葉を選び、身近な例を用いて説明を試みます。この試みの中で、学生から学ぶことが非常に多くあります。まさに「教える」という行為を通じて、自分自身も多くを学んでいると実感します。その意味では、「教える」というよりも「共に学ぶ」という表現のほうがしっくりきます。

「Docendo discimus」というギリシャ語の言葉は、どこか哲学的で格好良く感じられます。一方で、「教える」という職業がもたらしがちな「教えてやっている」という勘違いを正す効果もあるように思います。この言葉は、教育の本質を一言で表しており、私自身も教育における姿勢として常に意識するようになっています。

■ コンピュータビジョン

私の専門はコンピュータビジョンであり、数学を駆使して計算機に人間の視覚のような機能を持たせる仕組みを探求する分野です。この分野は、古くから続く視覚研究の一部であり、現在では人工知能研究の重要な一端を担っています。

視覚を解明するためには、一般的には眼球や脳を解剖してその構造を調べたり、特定の部位に電極を当てて微弱な信号を解析し、その機能を推定したりする方法が考えられます。また、人間がどのように「見ている」あるいは「見えている」と感じているかを内省的に分析したり、アンケート調査を行ったりすることも方法の一つです。

しかし、コンピュータビジョンではこれらとは全く異なるアプローチを取ります。この分野では、撮影対象となる世界を3次元空間として捉え、撮影された画像を2次元空間として扱います。それらの関係性を、純粋に数学的な視点から考察し、視覚の仕組みを解き明かそうとします。

■ 心理的実在, 工学的実現

私が研究者としてスタートした頃、あるプロジェクトに所属し、視覚機能の一つである物体認識、つまり「画像に何が写っているかをプログラムで出力できるようにしたい」というテーマに取り組みました。当時、コンピュータビジョンの黎明期であり、私自身はその存在を知りませんでした。そのため、いわゆる「画像処理」と呼ばれる技術を用い、視覚に似た働きを再現しようとする、非常にアドホック（行き当たりばったり）のアプローチで研究を進めていました。

振り返ると、当時の私は「研究とは何か」、特に工学における研究スタイルを見だせていなかったように思います。同僚たちが次々と論文を量産する姿を横目に、悶々とした日々を過ごしていたのを今でも鮮明に覚えています。

プロジェクトの代表である先生（以下「ボス」）からは、研究の評価基準として「心理的実在」と「工学的実現」の二つを求められました。

「心理的実在」とは、人間の視覚プロセスに似た処理をするだけでなく、人間が実際に行っていると思えるプロセスを追求することを意味します。「工学的実現」とは、科学的知識や技術を活用し、それを実際に実現することを求めるものでした。

ボスは人間の知能を解明するため、工学分野だけでなく心理学分野にも手を広げており、その中で培った二つの評価基準でした。当時駆け出した私にとって、それらを疑う余地など微塵もありませんでした。

「工学的実現」については、コンピュータ上でプログラムを書くことで何とか満たしていたものの、「心理的実在」は大きな壁でした。視覚の仕組みに関するさまざまな提案を行いました。そのたびに「人間はそうはやっていない」と一蹴されることが続きました。

そんな中、学会での出来事が転機となりました。ボスがいつものように他の講演者に「人間の意識に基づいたプロセスで考えるべきでは？」と質問した際、その講演者がこう答えたのです。「人間の脳内では、意識が及ばない部分でいくつものプロセスが同時並行で動作しています」。つまり、意識に従った仕組みだけで視覚を考えることには限界があると気付かされたのです。脳は、意識とは異なる並列処理やネットワークで機能している——この言葉に目から鱗が落ちた瞬間でした。

プロジェクト終了後、私は「心理的実在」という評価基準から一旦距離を置き、工学で一般的な評価基準である「軽薄短小」に重きを置くようになりました。これは、人間の感覚や思考に似ているかどうかといった価値観を問わず、処理速度、効率、負荷、規模など計量可能な尺度で方式の優位性を主張する考え方です。このアプローチを取り入れたことで、少しずつではありますが、自分なりの研究スタイルができていきました。

行き詰まったときは「盲目的に信じているものを疑え」——これが私の研究ポリシーです。このおかげで随分と疑い深くなったかもしれません。また、背景にある原理や評価基準にも注意を払うようになりました。それが変化することで、同じ研究結果でも良くも悪くなることを実感しています。

■ これからの人工知能

ニューロンが並列に発火しながら信号を送り合う脳細胞を模倣したニューラルネットワークの研究は、進化を続けています。現在では、深層学習と呼ばれる巨大なネットワークに効率的に学習させる手法が、人工知能研究の主流となっています。その成果は目覚ましく、クイズ王やチェスの世界チャンピオン、かつては人間の独壇場とされた将棋のプロ棋士にも勝利を収めました。AIのゲームプレイは、まるで凄腕のプロのような雰囲気を感じさせています。これらの事例は、ボスが強調していた「心理的実在」をまさに体現しているように思えます。

私の研究分野であるコンピュータビジョンも、指紋認証、顔認証、商品検査、一般物体認識、自動運転など、多くの実用例として世の中に浸透しつつあります。

今こそ、ボスが繰り返し説いていた「心理的実在」が注目されるべき時代が来たかと直感しています。時間の経過とともに評価尺度が再び変化し、それに伴い新たな研究分野やテーマが誕生することを大いに期待しています。

■ おわりに

月に一度のカフェ（コンピュータビジョンとAI）では、これまで取り組んできた研究をいくつか例に挙げながら、コンピュータビジョンや人工知能における私の挑戦の足跡を題材に、学生の皆様と気軽に雑談を楽しんでいます。また、コンピュータビジョンの基礎についても話題にし、新たな視点や興味を共有できればと考えています。人工知能と暮らす新しい時代を皆様と模索することを心より楽しみにしています。



人工知能と私

客員教員

大城 英裕

(大分大学 理工学部助教)

カフェ	／第1水曜日	14:00~16:00
学習相談	／第2水曜日	15:00~16:00
	第3・4水曜日	14:00~16:00

学習相談について

知って得する! 学習相談

ご不明な点はメール oita.center@gmail.com や
電話 0977-67-1191 でお気軽にお問い合わせください。

左記の大城先生を始め、当センターでは越智所長を含む8名の先生方が学習相談で皆さんのサポートをしてくれています。毎月のご案内でも各先生の専門分野をご紹介しますが、そこでは明かされていない情報も踏まえ、今一度振り返ってみましょう。

越智義道所長(統計科学)

統計に関する専門的なことはもちろんですが、パソコンの知識にも長けているため、扱いに困った時は遠慮なく頼りましょう。特にこれから購入をお考えの方、是非一度ご相談ください。より学習に適した使いやすいパソコンを教えてもらえます。それだけでなく勉強の進め方や卒業研究のテーマ設定等、学習全般の相談にも応じてもらえます。基本的に所長の出勤日なら随時受け付けているので、日時の融通が利きやすいこともポイントです。

大上和敏先生(化学・環境科学) 10:00~12:00

温泉・河川・水の知識を習って環境に詳しくなることも出来ますが、教育学部の先生なので教職関係の相談にも乗ってもらえます。特に理系の論文の書き方や説明文の読解など、根を詰めてしまいがちな作業を先生との対話で一息入れながら行ってみませんか。



センターウェブサイトから学習相談票をダウンロードしてメールに添付、またはセンター受付の用紙でお申し込みください。



シャーリー・ジェラルド先生 (英語・外国語教育) 14:00~17:00

言語の習得は何よりも言葉に馴染むことが大切です。先生は会話に重きを置いているので、耳から口からどっぷり英語に浸れる時間を過ごせます。それでは全くわからないとの心配はご無用です。日本語での質問もOKなのでLet's try!



鈴木雄清先生(教育工学・教授システム学) 14:00~16:00

パソコンについて、初心者の方からスキルアップを目指す方まで多くの方が相談なさっています。課題提出や試験など、さまざまな学習シーンでパソコンが必要になっています。お困りの際は一人で悩まずに相談してみると、問題解決の糸口がきっと見つかりますよ。



空き状況確認にはセンターウェブサイトのカレンダーをご利用ください。



カウンセリングも受けられます

小野貴美子先生(臨床心理学)

日々の中での迷いや不安を優しく受け止め解してもらえるので、どうぞ気後れすることなくお申し込みください。随時受付です。ご都合の良い時をお知らせください。



鈴木晶先生(インバウンド観光・日中観光) 14:00~16:00

たまたま目にしたり耳にしたりした中国語、理解できたら楽しいだろうなと思ったら先生の定番です。意味も発音も教えてもらえて、中国語がぐっと身近になりますよ。図書館にある先生の著書「やさしい中国語」を読んで、知りたいところを尋ねてみるのもお勧めです。

渡邊亘先生(臨床心理学) 15:00~17:00

臨床心理学の世界にもっと触れてみたい方、その道の先輩である先生から専門知識を教わってみませんか。豊かな経験に基づいたお話は学びに深みをもたらすし、将来資格の取得や心理職に就くことを考えられた際にも大いに役立つことでしょう。

廃棄雑誌をお譲りします

事前予約は受け付けません。なくなり次第終了です。

ご希望の方は2月15(土)~3月16日(日)の期間中、学生控室にお越しください。

【雑誌種類一覧】AERA、臨床心理学、NATIONAL GEOGRAPHIC(日本版)、Newton、英語教育、週刊文春、婦人公論、月刊セーノ!、文藝春秋、サンデー毎日、数理科学、栄養と料理

単位認定試験について

2024年度第2学期単位認定試験は以下のとおり、Web受験方式（一部科目については郵送受験方式）にて実施します。

1. 試験実施期間

実施方法	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web試験	択一式科目	2025年1月19日(日) 9:00～1月27日(月) 17:00
	記述式・併用式科目	2025年1月19日(日) 9:00～1月23日(木) 24:00
郵送試験	すべての出題形式	2025年1月19日(日)～1月23日(木)《必着》

2. 実施方法

Web受験方式

- ・インターネットを通じ「Web単位認定試験システム」にアクセスして受験します。
- ・試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。

- ・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）
- ・出題形式には「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内（授業科目講義概要）」に掲載しています。

択一式問題 選択肢をクリックすることで解答します。

記述式問題 解答記入欄に文字入力することで解答します。

郵送受験方式

- ・「行政学講説('24)」(記述式)、「正多面体と素数('21)」(記述式)、「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式)、「量子化学('19)」(併用式)の4科目のみ、郵送試験で実施します。

- ・1月上旬ごろに大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- ・試験時間の制限は行いません。提出期限内に解答を作成し、提出してください。

3. Web単位認定試験体験版について

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに、必ず体験版を操作しておいてください。

システムWAKABA→学内リンク→Web単位認定試験→科目一覧「Web単位認定試験体験版」

不明点などありましたら、大分学習センターへお問い合わせください。操作体験のご案内も行っています。

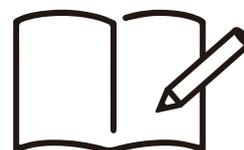
4. 受験票とその他送付物について

放送大学本部より下記の書類が送付されています。使用可能物品等、単位認定試験について詳細な案内が記載されていますので、必ず確認してください。なお、1月10日(金)になっても、受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部にご連絡ください。(TEL:043-276-5111 学生サポートセンター)

- 1, 単位認定試験通知（受験票）
- 2, 「単位認定試験受験に際しての注意事項」及び「試験問題の公表」について
- 3, Web試験のアクセス方法について

5. 単位認定試験期間中の大分学習センターの利用について

- ・カフェ、学習相談、サークルはお休みです。
- ・図書室内での受験は出来ませんが、学習は可能です。
- ・学生控室にあるテレビは視聴できません。
- ・試験を行っている教室もあります。お静かにご利用ください。



2025年度第1学期面接授業開設一覧

2025年度第1学期大分学習センターで開設予定の面接授業は以下の通りです。なお、授業概要等の詳細については、シラバスまたは「2025年度第1学期面接授業時間割表九州・沖縄ブロック版」をご確認ください。

授業日	科目名	担当講師 (敬称略)	科目区分	PC持参必須 の科目
4月19日,20日	ことばと社会を知るための方言学	松田 美香	導入科目 人間と文化	●
4月19日,20日	大分の災害と防災	鶴成 悦久	導入科目 自然と環境	
4月26日,27日	大分県における国際観光	鈴木 晶	導入科目 社会と産業	
4月26日,27日	微分積分と差分和分	石崎 克也	専門科目 自然と環境	
5月10日,11日	心理学実験3	麻生 良太	専門科目 心理と教育	
5月17日,18日	心理学実験1	矢島 潤平	専門科目 心理と教育	●
5月17日,18日	絵本で耕す声の世界	花坂 歩	導入科目 人間と文化	
5月24日,25日	生成AIの活用	鈴木 雄清	導入科目 情報	●
5月24日,25日	脳の働き方と故障	櫻井 芳雄	専門科目 生活と福祉	
6月14日,15日	健康と生活を支える看護	安藤 敬子	導入科目 生活と福祉	●
6月14日,15日	身近な栄養学	牧 昌生	専門科目 生活と福祉	
6月21日,22日	東洋医学・鍼灸と食養生	杉若 晃紀 木場由衣登 市橋 香澄	専門科目 生活と福祉	
6月21日,22日	SDGsにおける生物多様性戦略	永野 昌博	導入科目 自然と環境	
6月28日,29日	基礎英語学習ワークショップ	Shirley Gerald	基盤科目 外国語	
6月28日,29日	認知行動療法入門	川崎 隆	専門科目 心理と教育	

2025年度第1学期の科目登録について

次学期の科目登録・継続入学のための各要項が、大学本部より1月中旬頃に届きます。
科目登録申請・継続入学出願の際は、各要項および『学生生活の葉』を必ずお読みください。

2025年4月以降も学籍が続く方（科目登録申請の手続き）

システムWAKABAから手続き …………… 2月13日(木)9時～2月28日(金)24時

郵送で手続き(科目登録申請要項) …… 2月13日(木)～2月27日(木) **私書箱必着**

※2月5日(水)になっても届かない場合は大学本部にご連絡ください。

2025年3月で学籍が切れる方（継続入学の出願手続き）

システムWAKABAから手続き **第1回** 11月26日(火)9時～2月28日(金)24時

第2回 3月1日(土)0時～3月11日(火)17時

郵送で手続き **第1回** 11月26日(火)～2月28日(金) **私書箱必着**

(出願票他提出書類セット) **第2回** 3月1日(土)～3月11日(火) **私書箱必着**



継続入学で入学学期当初から面接授業を登録したい方

期限内（2月13日(木)9時～2月28日(金)24時）にシステムWAKABAから出願してください

※郵送での受付はできません。

※面接授業だけの出願はできません。あわせて放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録してください。

開設30周年記念式典・講演会

1994年に大分市野田にある別府大学大分キャンパスに開所した大分学習センターは、2024年をもって開設30周年を迎えました。これを記念して、放送大学本部より高橋理事長・岩永学長をお招きし、記念式典・講演会を開催しました。関係機関より多くのご臨席を賜り、無事に開催できましたこと感謝申し上げます。

今後も大分学習センターをよろしくお願いします。



放送大学
大分学習センター

開設30周年記念式典
記念講演会
2024年11月16日(土)
大分県立図書館「視聴覚ホール」



学生行事のお知らせ

11月3日

自然探勝と食味の会

昨年の春開催に続き、今年も由布院の水地公民館で開催しました。前日の大雨が嘘のような快晴の中で、山に入り原木のしいたけ狩りなどを体験しました。美味しいごはんご馳走様でした！



11月23日

学生研修旅行

今回は阿蘇・小国へ行ってきました。雄大な阿蘇山に圧倒され、美味しいランチでお腹も満たされ、道の駅でお買い物、そして新千円札の顔、北里柴三郎の記念館で偉大な歴史に触れ、とても充実した研修旅行となりました！



12月7日

明日を語る交流の集い

今年は満員御礼の忘年会となりました。前田元所長も参加されて皆さん思い出話にお酒が進んでいたようです。普段お話しする機会が少ない方とも交流ができて楽しい時間を過ごせました。



今後の学生行事予定

- | | |
|------------------|----------------------------|
| ○パソコン初心者講習会(2日間) | 2月 8日(土)～9日(日)・大分学習センター教室1 |
| ○卒業研究最終発表会 | 2月15日(土)・10時～・大分学習センター教室1 |
| ○グラウンドゴルフ大会 | 3月 3日(月)・10時～・別府大学グラウンド |
| ○ゴルフ大会 | 3月10日(月)・トライアル ゴルフ&リゾート |
| ○学位記授与式・入学者の集い | 3月30日(日)・10時～・大分学習センター教室1 |

本年度より「大分学習センター利用の手引き」は、HPにアップしておりますので各自印刷してご利用下さい。

今後の予定 (1月～3月)

※日程は変更になる場合があります。最新の情報は学習センター掲示板、ウェブサイトにてご確認ください。また、お気軽に電話ください。
 塗りつぶしは閉所日です。

1月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1～3日 年末年始による閉所日
 18～19日 大学共通テストによる臨時閉所日
 19～27日 単位認定試験期間

2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

2日 オープンキャンパス
 4日 別府大学入試による臨時閉所日
 8日 公開講演会
 8～9日 パソコン初心者講習会
 15日 卒業研究最終発表会
 16日 オープンキャンパス

3月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2日 オープンキャンパス
 3日 グラウンドゴルフ大会
 10日 ゴルフ大会
 30日 学位記授与式・入学者の集い

意見箱が装いも新たにリニューアルしました!

設置場所を皆様の目につきやすいところに変更しました。この意見箱は、日ごろセンターに感じていることを遠慮なく伝えてもらうためのものです。こうした方がいい!や、普段言いにくいことなど書き連ねてください。一度この機会に、意見箱を見に行き、言いたいこと言って(書いて)みてはいかがでしょうか。たくさんのご意見お待ちしております!

学生控室の窓際のテレビ横に設置しています!▶



サークル活動報告

by この指とまれ短歌の会

十一月「この指とまれ歌会」詠草

令和六年十一月二十二日

題詠 題「霜」

一 霜柱踏めばパリパリ音をたて

天に向かいて姿とどめず

二 きらめきは水晶のごとし霜柱

ぐしゃり踏まれて土に還るか

三 霜降りて凍てつく水に母の手は

たじろぎもせず衣洗いつ

四 駅への路にびつしりと霜降りて

大股の父は湯気吐きつゆく

五 霜の朝送った父は帰還せず

悔しい昭和優しい昭和

六 年ごとに痩せゆくアイスモンスター

温暖化せり樹霜の冬も